Kinki Welfare University　近畿福祉大学後援会報

ともに生きる

No.7

ご　挨　拶

後援会長
中　貝　　太

第一回目の卒業生を送るにあたり、心からお喜び申し上げます。

先生方、関係各位の皆様方におかれましては感慨深いこととご拝察いたします。又、卒業生の皆様、後援会々員の皆様には心よりお祝い申し上げます。特に会員の皆様にとりましては長年にわたる親の義務が無事終了を迎えられ安堵されたことと思います。

卒業生の皆様は、いよいよ社会人として新しい第一歩を踏み出されようとされております。この４年間、近畿福祉大学で学ばれた知識を実践として役立て、勉学だけでは得られなかった経験を積み重ねられ第一線で活躍されんことを期待しております。

そして、社会の構成員の一人として、自己の言動に責任を持ち、先輩方のアドバイスには傾聴し積極的に指導を仰ぎ自己育成に励まれんことを希望します。特に福祉の現場の第一線に携わる方々にはリハビリテーションとノーマライゼイションの理念に基づき、高齢者や障害のある方々が自己実現に向かい自立した生活を送れるよう、QOL（生活の質）向上の支援を頂きたい。卒業生一人ひとりの活躍が今後の近畿福祉大学の歴史となり後輩への道しるべとを忘れず精進されますよう願っております。

最後になりましたが、会員の皆様には後援会活動に対しまして今後とも、ご協力賜り、又ご意見も頂きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

「４年間を振りかえり」

初代後援会長
小　谷　　忍

近畿福祉大学にとって初めての社会福祉士国家試験も無事終わり４年生にとっては肩の荷がおりた思いではないでしょうか。娘が入学してはや４年、時の流れの早さに驚きました。４年生の皆さんが福祉を学び始めたのはついこの間のように思っていましたが、今では福祉のプロにふさわしい人材に成長されたことでしょう。この学生生活でたくさんの人に出会い、多くのことを経験されましたね。これらの経験を活かし春からは社会人としてがんばってください!!

私は長年福祉職に携わりその中で、『福祉の仕事』とは人とのつながりが基本であり、そこから生まれる『出会い』を大切にすることでより仕事が深まると考えています。卒業される皆さんも４年間で得た友人とのつながりを大切にし、またこれから訪れる『出会い』を大切にしていってください。

この４年間ご家族の方々にとっては心配されたことも多かったのではないでしょうか。４年という日々を様々な思いで過ごしておられたと想います。私も後援会の役員としてたいした事はできませんでしたが、後援会役員の皆様と共に大学・学生のことを考え会議に出席し、教職員の皆様や学生達と接する機会が持てた事をうれしく思っています。もうすぐ卒業される皆さんは一人ひとりの道を歩み始めます。ご家族の皆さんはがんばっているこどもたちをこれからも見守ってあげてください。この近畿福祉大学で学んだ学生なら、きっと活躍してくれるはずです。卒業生の成功をどこかで耳にすることを心待ちにしています。

最後に、私は娘の卒業と同時に後援会役員としての職は離れますが、今後も大学の応援をしていきたいと思います。在学生の皆さんも充実した学生生活を過ごしてくださいね。また、先輩方の築き上げた大学をより立派にしていってください。そして、近畿福祉大学が４年目を迎えることができたのは、先生方・学校関係者の皆様のお陰だと心から感謝しています。開学以来学生のために様々な努力をしてくださいました。その力はきっと学生に伝わっていると思います。今後も学校運営に力を注がれ、皆様で共に近畿福祉大学の歴史を築いていってください。近畿福祉大学の今後の発展を心から祈っています。４年間後援会活動にご協力いただきありがとうございました。

ご挨拶

学　長
大　羽　　蓁

第一回卒業式学位記授与式を迎えるにあたって

後援会の皆様、お変わりございませんか。この度、会報第７号が３月に発行されるにあたり、ご挨拶の機会を与えていただき感謝致します。この３月は、近畿福祉大学第１回の卒業式を迎えることができるようになり湧き上がるような喜びを感じております。

開学以来、幾多の難関を克服して今日まで大学が発展できましたのは、学生たちの真摯な努力と後援会の皆様のご支援があってのことで、あらためて厚く御礼を申し上げます。特に第１回の卒業式を迎えるにあたり、卒業生の方々と保護者の皆様に対して心からお歓びを申し上げます。

私は、平成13年３月発行の後援会報第１号の中で、「社会福祉学部の出発」と題して初めてご挨拶をさせていただきました。その中で私は、「福祉大学」と銘打った大学の「社会福祉学部」として文部省（現在は文部科学省）に認可され、卒業生には学士（社会福祉学）という名称の学位が授与されることを述べました。さらに自覚を新たにして先進諸大学に負けない成果を上げたいということ、そして、必ずや人間性豊な魅力ある若者が成長してよい学風が創りあげられるものと信じているということを強調しました。最後に、「まだ先のことで、お笑いになるかもしれませんが、学生の皆さんがそろって、めでたく学士（社会福祉学）の学位を得られますことを心から期待し、その喜びを分かち与えていただきたいものと願っております。」と結びました。

このような希望と期待は、いまや現実のものとして到来しようとしております。こうして喜ばしい春を迎えますことは本当に嬉しいことです。「よい希望はしまいには実現する」と20世紀の著名なフランスの思想家は申しました。私は折にふれて学生諸君にこの言葉を語ってきましたが、私達は今春こうして現実を確認することができたわけです。教職員は、学生と共に懸命の努力を傾注して参りました。この努力は引きつづいて実行し、大学発展の次の段階へ継続して参ります。全学の学生、そして保護者の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

４月から新しい学科として「福祉心理学科」が発足します。「こころの福祉」をさらに学問的にも深く極めて、福祉の分野で社会貢献できる近畿福祉大学を目指します。

先だって２月１日、本学の就職部長の小西博喜教授が会長を務めておられる日本車椅子ハンドボール連盟主催で、第１回日本車椅子ハンドボール競技記念大会が姫路市で開催され、仙台チームが初優勝しました。そのチームの車椅子の監督は、私に対して「近畿福祉大学は仙台にある東北福祉大学のような学校ですか」と言われました。私は「あのような伝統のある大きいものではありませんが、私達も負けないように頑張っています」と申しました。このような気持ちと共に、４月からはさらに内容を充実させて、本学の発展のために力を盡したいと存じますので、ひきつづき後援会の皆様のご高配を切にお願い申し上げる次第でございます。

校章およびシンボルマークの由来

校　章

ヨーロッパの伝統的な紋章のモチーフである盾をベースにして、篆書体の「大学」という文字を配しました。
大学という文字を囲むのは、姫路市の市の花であるサギソウです。
サギソウは里山の明るい川岸に咲く、湿地性でありながら日当たりを好む清楚な花。花がサギが飛び立つ姿に似ていることからサギソウと名付けられました。
いつも太陽のあることを信じて、清々しく凛として自分の花を開かせる人であってほしい。本学に集う若い人たちへのそんなメッセージを込めました。
もちろん、姫路市と近畿福祉大学とのゆかりを象徴したものです。

マ ー ク

マークの形は、人に向かい、受け入れ、包み込もうとしている手をかたどったものです。
また、この手は伸びていこうとする若葉もシンボライズしています。人を愛する心をもって学問と技術の実習に生き生きと励む、大学に集う若い人たちそのものといえるでしょう。
その若い人たちを包んでいる、場としての大学を表すのが、周囲に配した円形のラインです。マーク全体として、近畿福祉大学が常に大切にしている、人と温かく関わっていく姿勢、人との関わりの中で自らを成長させていく理念を表しました。
色彩として選んだのは、フランスの伝統色である「ヴェール・ポワ・シシュ（グリンピースの緑）」です。これは、生え出て間もない瑞々しい時期は過ぎたが、まだ初々しさを残しながら元気に育っている葉の色合いであります。
また、近畿福祉大学の緑豊かな美しいキャンパスであり、自分の将来に向けて確かな歩みを始めた、若い人たちの姿でもあります。

四年間をふりかえって

社会福祉学科長
笹　野　完　二

開学後４年が経過し、本学は名実共に完成しました。今春には、この福崎の地から第１期生を全国に向けて送り出します。平成12年以来、年次計画に従って当初の計画通りに一応の完成を見たことは誠に喜ばしい限りです。しかし、この４年間は多くの苦労の連続でした。計画を実現させるためには、その実施段階において多くの現実問題を解決し、現実に即した運営上の工夫が必要でした。初めは全く道のないジャングルを切り開いて進むような心境で、運営上のルールも不十分なままの出発でしたが、全教職員の結束と協力によって何とか運営を軌道にのせることが出来ました。そういう意味では、本学に於けるこの４年間の教育は、近畿福祉大学方式の教育の完成を目指した関係者全員の創造的な努力の成果であると言えるのではないでしょうか。

一方、学生たちがこの４年間に何を学び得たかということは、私たちの最も懸念するところです。大学が計画し、実施した教育を、一人ひとりの学生がどれだけ身につけてくれたかと言うことは最も重要な問題ですが、その他に、教師の影響、課外活動やボランティア活動、友人関係などすべてのことが個人の人間形成に関与したと思うので、それらの総合として４年間の成果を評価してやる必要があると思います。やがて、社会福祉のパイオニアとして全国各地で活躍するであろう彼らの姿を想像しつつ、たくましく成長した学生達を見る時、本学で学んだことによって、他の大学等では得られなかったであろう貴重な何ものかを得たのではないかと密かに自負の念を強くする次第です。ご父兄におかれましては、この間、陰に陽に学生を支えていただき、また、大学の運営にも多大のご協力をいただきましたことを感謝いたします。

さて、この４年間で本学の教育の基盤は築かれ、教育環境も整ってまいりましたが、さらによりよい教育をすすめるために、私達は、教育内容の改善、教育指導方法の検討・改善に向かって真剣に取り組んでおります。また、本学が当初から目指している「福祉の心」をはじめとする人格教育についても、さらに重要視していきたいと思っております。さらなるご支援をお願い申し上げます。

ご卒業おめでとう

介護福祉学科長
澤　田　丞　司

第１期生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たち教職員一同心よりお喜び申し上げます。

思えば、平成12年４月に開学した本学の第１期生として入学されました皆さん方にとって、この４年間は、学業においても学生生活においても、相談すべき先輩やモデルとすべき先輩たちがいなくて、何事においても独力で創意工夫したり、課題に挑戦しなければならず、きっとパイオニアとしての様々な辛さや苦しみを経験されたことでしょう。それだけに、初期の目的を果たして、今、卒業の日を迎えられることに対して、感慨ひとしおのことと思います。

私たち教職員もまた、この４年間は、新設の大学として、毎年新たな課題に直面しながら、建学の目標を実現するために、そして皆さん方のニーズに応えるために、試行錯誤を繰り返す日々でありました。皆さん方とともに歩いたこの４年間を振り返りますと、新学期のオリエンテーションに始まって、教室での講義や演習、施設での実習、卒論ゼミさらには学園祭やスポーツ大会など、様々な思い出がよみがえってきます。こうした皆さん方との出会いを通して、福祉のこころやあり方について、一緒に語り、学ぶことのできましたことを大変嬉しく思っています。そして、今、皆さん方を本学の第１期生として社会に送り出すことのできますことに、教職員一同大いなる喜びと誇りを感じています。

第１期生の皆さんには、本学での４年間の学びをこころの糧として、それぞれ進むべき道は違っても、それぞれの新天地で「さすがに近畿福祉大学の出身者」といわれるような福祉の実践家になってほしいと思います。そうした皆さん方の社会での活躍は、後に続く後輩たちにとってきっと「巨人の星」となることでしょう。今後のご活躍とご発展をお祈りします。

第一回の卒業生を送り出すに際して

福祉産業学科
近　藤　明　博

いよいよ第一回の卒業生を社会に送り出す時期になりました、実社会での活躍を祈る次第であります。卒業生の実社会での評価が当大学の評価・伝統を築きあげていくものであります。そういう意味で卒業生の活躍が非常に大きな比重を持つわけでありますが、特別仰々しく考える必要はなく、これまで学んできた“福祉の心とは”と問いただしつつ行動すればよい筈です。

さて、学生にとっても後援会の皆様にとっても卒業後の進路は重大関心事であります。この程の厚生労働省の調査では採用側が採用時に比重を置く能力は、コミュニケーション能力、基礎学力、資格取得、責任感、ビジネスマナーの順になっています。一方採用側の不満度の高い順はコミュニケーション能力、資格取得、行動力・実行力、ビジネスマナーとなっています。

採用側の不満度の高いコミュニケーション能力とは自分の云うべきことを話すのはもちろん、相手の言うことをよく聞くことであり、ビジネスの場ではさらにプレゼンテーション能力も含まれるわけであります。コミュニケーション能力については福祉施設の見学実習に行っても説明をしてくださる方々、皆さんがその重要性について話をされますので学生は十分理解している筈です。施設の利用者に合せて話をする、また聞くというのはお年寄りから子供までと年齢も幅広く、それ以外に考慮すべき事情もあり非常に難しいことであります。これには日ごろ一般素養というか常識（公務員試験には特に必要）を培っておく必要があります。これらは相当部分、常に自分の関連する分野に興味関心を払っていることにより身についてくるものであります。

“木を見て森を見ず“ということのないように関連する分野の大きな流れを知っておくことも重要であります。高齢化社会という言葉はよく聞きますが福祉に関連する分野で働く人としてはもう少し深く、６５歳以上の人口は総人口の何パーセント（この人達が可処分所得１４００兆円の大半を所持）とか、６５歳以上人口１００人のうち要介護の人は約4.9人、寝たきりの人1.9人（厚生労働省調べ）、国の歳出費は１０００円あたり国民の健康福祉に２３２円と一番多額である、介護保険の給付金の増加を抑えるために介護予防という考えが各自治体から出始めた、というような事を日ごろの新聞から読み取っておくことが肝心だと思います。

資格取得に関しては、日ごろ全学を挙げて尽力しているので、ここであらためて説明するまでもないでしょう。

先にあげた能力に掲げられてないもので事務処理能力、問題解決能力が非常に重要かつ基本的な事項ですが、これにはよく言われるように常に創意工夫（改善）を忘れないで事にあたることにつきるでしょう。

以上とりとめもなく記しましたが、卒業生の皆さんが“福祉の心を“わすれず早く職場に溶け込んで活躍されることを祈ります。

2004年４月、「こころの福祉」を実践する４番目の学科

社会福祉学部 福祉心理学科 が誕生します

人間性の本質を極め、人間の学としての福祉学を追究します。

不登校、中退、ひきこもり・・・いま子どもたちの精神発達の問題は深刻な社会的問題となっています。またお年寄りや障害のある人たちに対する不適切な対応、ストレスから生じるさまざまな病気も大きな問題です。このような現代の複雑な問題を解決するにためには、心理学の基礎教育で培われた科学的思考と、臨床心理学やカウンセリングの幅広い知識、実践的技能が不可欠です。

2004年４月、社会福祉、介護福祉、福祉産業に続く４番目の学科として社会福祉学部に設置される「福祉心理学科」は、心理学と福祉学の融合をはかった新しい学科です。人間性の本質を極め、人間の学としての福祉学を追求します。

車椅子ハンドボール報告

第１回日本車椅子ハンドボール競技記念大会が平成16年１月31日（土）・２月１日（日）の両日、姫路市立中央体育館で開催されました。

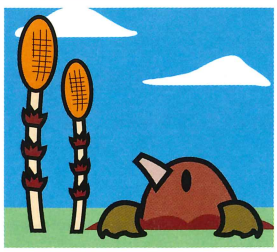
この大会は日本車椅子ハンドボール連盟主催のもと近畿福祉大学が共催し、後援会からも学生のボランティア活動支援という形で協力致しました。

車椅子ハンドボール競技においては、障害の有無は関係ないことから、本学からも学生チームが参加し、予選を見事に突破、決勝トーナメントに進出を果たす好成績を残しました。

また、多くの学生達が競技開催１ヶ月前からボランティアとして大会運営に携わり、第１回目の記念大会に花を添えることができました。

平成15年度　学内行事概要

月	期　日	内　容
4	2(水)～4(金) 5(土) 7(月)～9(水) 8(火) 10(木)	在学生ガイダンス・健康診断 第４回　入学式・後援会総会 １年生オリエンテーション・健康診断 前期授業開始（在学生） 前期授業開始（新入生）
6	21(土)･22(日)	姫友戦〔スポーツセクション〕
7	7(月)～8/1（金) 15(火)～18(金) 22(火)～	介護実習第３段階(介護福祉学科３年) 補講集中期間 前期試験〔８月１日(金)まで〕
8	2(土) 18(月)～9/26(金)	後援会役員会 夏季休業開始〔９月15日(月)まで〕 社会福祉援助技術学外実習２回目



月	期　日	内　容
9	1(月)～12(金) 16(火)～19(金) 29(月) 29(月)～11/7(金)	介護実習第１段階(介護福祉学科２年) 補講集中期間(追試含む) 後期授業開始 社会福祉援助技術学外実習２回目
10	25(土)～26(日)	学園祭
11	10(月)～12/19(金) 4(火)～12/1(月)	社会福祉援助技術学外実習３回目 介護実習第４段階(介護福祉学科３年)
12	14(日) 8(月)～19（金) 23(火) 24(水)～27(土)	後援会役員会 介護実習第２段階(介護福祉学科２年) 冬季休業 〔平成16年１月４日(日)まで〕 補講集中期間
1	5(月) 13(火)～24(土) 25(日) 28(水)～30(金) 31(日)～2/1(日)	後期授業再開 後期試験〔２月８日(金)まで〕 社会福祉士国家試験 追試験 第一回日本車椅子ハンドボール大会(姫路)
2	10(火) 13(金)～17(火)	成績発表 再試験期間
3	7(日) 15(月)	後援会役員会 卒業式

平成 16 年度　行事予定

月	期　日	内　容
4	1(木)～6(火) 3(土) 5(月)～8(木) 7(水) 9(金)	在学生ガイダンス・健康診断 第 5 回　入学式・後援会総会 1 年生オリエンテーション 前期授業開始（在学生） 前期授業開始（新入生）
6	上旬 7(月)～7/11(日) 下旬	姫友戦〔スポーツセクション〕 介護実習 第 3 段階 (介護福祉学科 3 年) クリーン作戦 (町内清掃奉仕活動)
7	20(火)～23(金) 26(月) 下旬	補講期間 前期試験〔8 月 5 日 (木) まで〕 後援会役員会
8	6(金) 23(月)～9/24(金)	夏季休業開始〔9 月 15 日 (月) まで〕 社会福祉援助技術学外実習 1 回目

月	期　日	内　容
9	13(月)～16(木) 17(金)～24(金) 27(月)～11/5(金)	補講集中期間 (追試含む) 再試験期間 社会福祉援助技術学外実習 2 回目
10	1(金) 4(月)～17(日) 23(土)･24(日)	後期授業開始 介護実習第 1 段階 (介護福祉学科 2 年) 播彩祭（学園祭）
11	8(月)～12/17(金)	社会福祉援助技術学外実習 3 回目
12	上旬 中旬 22(水)～25(土) 26(日)	クリーン作戦 (町内清掃奉仕活動) 後援会役員会 補講・集中講義期間 冬季休業 〔平成 17 年 1 月 7 日 (金) まで〕
1	8(土) 18(火)～28(土) 30(日) 31(水)～2/2(水)	後期授業再開 後期試験〔2 月 8 日 (金) まで〕 社会福祉士国家試験 追試験期間
2	18(金)～22(火)	再試験期間
3	上旬 15(火)	後援会役員会 卒業式

第４回播彩祭
車イス社交ダンス風景

手話同好会　活動風景
（市川町立 鶴居小学校にて）

平成16年度　後援会総会の開催について（案内）

後援会総会を入学式終了後、新入生会員の方々とともに、下記のとおり開催いたしたくご案内申し上げます。何かとご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日　　時　　平成16年4月3日（土）　12：00
場　　所　　近畿福祉大学 A棟 大ホール
主な内容　　1）役員挨拶
2）大学挨拶
3）平成15年度事業報告並びに監査報告
4）平成16年度事業計画案並びに予算案
※総会当日は、入学式が挙行されているため、式終了までは控室（学生食堂）をご用意いたしております。

以上

ご出欠の返事につきましては、お手数ながら同封のはがきにて、4月1日（木）までにご返送ください。なお、ご欠席の場合は、委任状の記入をお願い致します。

NHK 兵庫放送局にて紹介されました！

NHK 兵庫放送局「ひょうごキャンパス探訪」にて近畿福祉大学を紹介中です。インターネットでもムービーをご覧いただけます、是非ご覧ください。大学ホームページからもアクセスできます。

http://www.kinwu.ac.jp/

お便りコーナー

事務局では会員の皆様からの『もっとこういうことが知りたい』などのご意見、お便りをお待ちしております。またインターネットや携帯電話をご利用のうえ下記 E-mail アドレスに送信いただいても結構です。どうぞよろしくお願いします。

注意してください!!

大学教職員を名乗り、学生個人の携帯電話番号を聞き出すという手口の事件が近隣大学で発生しております。大学側から個人の携帯電話番号を電話でお問い合わせすることはございませんので十分注意してください。

訃　報

開学当初からご尽力いただきました、
亀野　靖郎　社会福祉学科教授が平成15年8月31日急逝されました（享年68歳）。
謹んでお悔やみ申し上げます。

発行日：　2004年3月1日
発　行：　近畿福祉大学後援会
事務局　学生部
〒679-2217　兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5
TEL（0790）22－2528
FAX（0790）22－6941
E-mail:gakuseibu@kinwu.ac.jp